



2025 年 6 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A B E J A

代 表 者 名 代表取締役CEO 岡田 陽介

(コード番号：5574 東証グロース市場)

問 合 せ 先 取締役CFO 英 一 樹

(TEL. 03-6387-9222)

NEDO が推進する「GENIAC」プロジェクト 第二期事業の終了に伴う成果のご報告

当社は、「GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge)」の第二期として、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が進める「競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発」事業にて、LLM および周辺技術の研究開発を進めてまいりました。

この度、2024 年 10 月より開始した当該事業が、2025 年 4 月末日をもって終了いたしましたことをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

2025 年 6 月 3 日

株式会社 ABEJA

各 位

ABEJA、NEDO 推進「GENIAC」プロジェクト 第二期事業の終了に伴う成果報告
～ 構築した小型化 LLM の日本語性能が世界最高水準を達成 ～



人と AI の協調により「ゆたかな世界を、実装する」株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」）は、経済産業省と NEDO が実施する、国内の生成 AI の開発力強化を目的としたプロジェクト「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」の第二期である「競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発（助成）」事業※1（以下「第二期事業」）にて、LLM および周辺技術の研究開発を進めてまいりました。

2024 年 10 月より開始した当該事業は、2025 年 4 月末日をもって終了いたしましたことをお知らせいたします。

ABEJA は、当該事業において、学習コスト 1 億円を上限に 3 つの小型化 LLM を構築しました。3 モデルのうち、32B リーズニングモデルおよび 7B モデルは、同規模モデルにおける世界最高水準の日本語性能を達成しております。ABEJA は、このたびの研究開発によって、LLM の社会実装を阻む障壁であった「精度とコストのトレードオフ」という課題を克服したと認識しております。また ABEJA は、社会実装の加速化を実現すべく、エッジ環境でのデプロイも可能にし、第二期事業における研究開発で得られた各モデルおよびノウハウなどを公開しております。

■ 概要

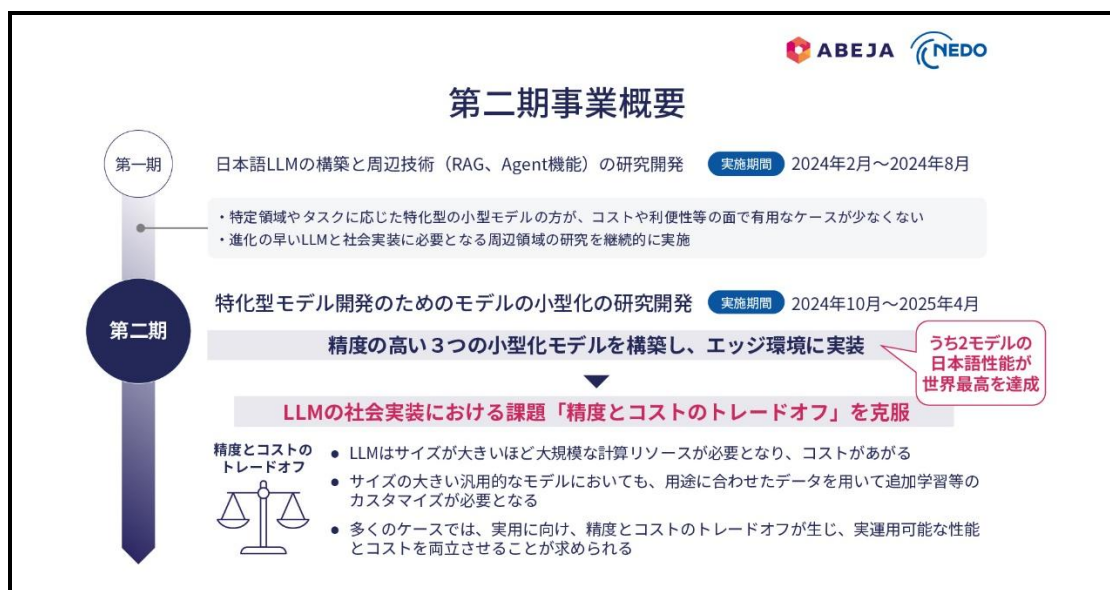
ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」を展開しています。ABEJA は、2012 年の創業時よりディープラーニング、2018 年から LLM、2019 年から量子コンピューティングなどの前衛的研究開発を積極的に行っており、随時、研究開発成果を ABEJA Platform に搭載しております。

現在、世界中の企業が LLM を中心とする生成 AI から生み出される巨大な価値を享受するため、様々な取り組みを開始しています。このような背景の元、経済産業省および NEDO は、日本国内の基盤モデル開発力を底上げし、また企業などの創意工夫を促すため、GENIAC を立ち上げました。GENIAC では生成 AI に係る様々な支援を進め、日本の開発力の向上を目指しています。

ABEJA は、GENIAC に、第一期（2024 年 2 月～2024 年 8 月）、第二期（2024 年 10 月～2025 年 4 月）と継続して参画し、LLM の社会実装に貢献しております。

LLM における重要な法則の 1 つとして、LLM の精度の向上に合わせて、計算量、学習データサイズ、モデルのパラメータ数が巨大化していく「スケール則」があります。LLM の精度を向上させるためには、必然的にコストが増大するため、精度とコストにはトレードオフの関係があるとされていました。

ABEJA は、従来より LLM の社会実装における最大の課題は、「精度とコストのトレードオフ」にあると考えており、この課題を解決するため、第二期事業においては高精度の特化型モデルの開発に向けたモデルの小型化を進めてまいりました。このたびの研究開発によって、LLM の社会実装を阻む障壁であった「精度とコストのトレードオフ」という課題克服を大きく前進させる成果が得られております。



ABEJA および NEDO が取り組んだ第二期事業（概要図）

■ 第二期事業における成果

(1) 世界最高水準の性能を備えた利便性の高い小型化日本語 LLM の構築

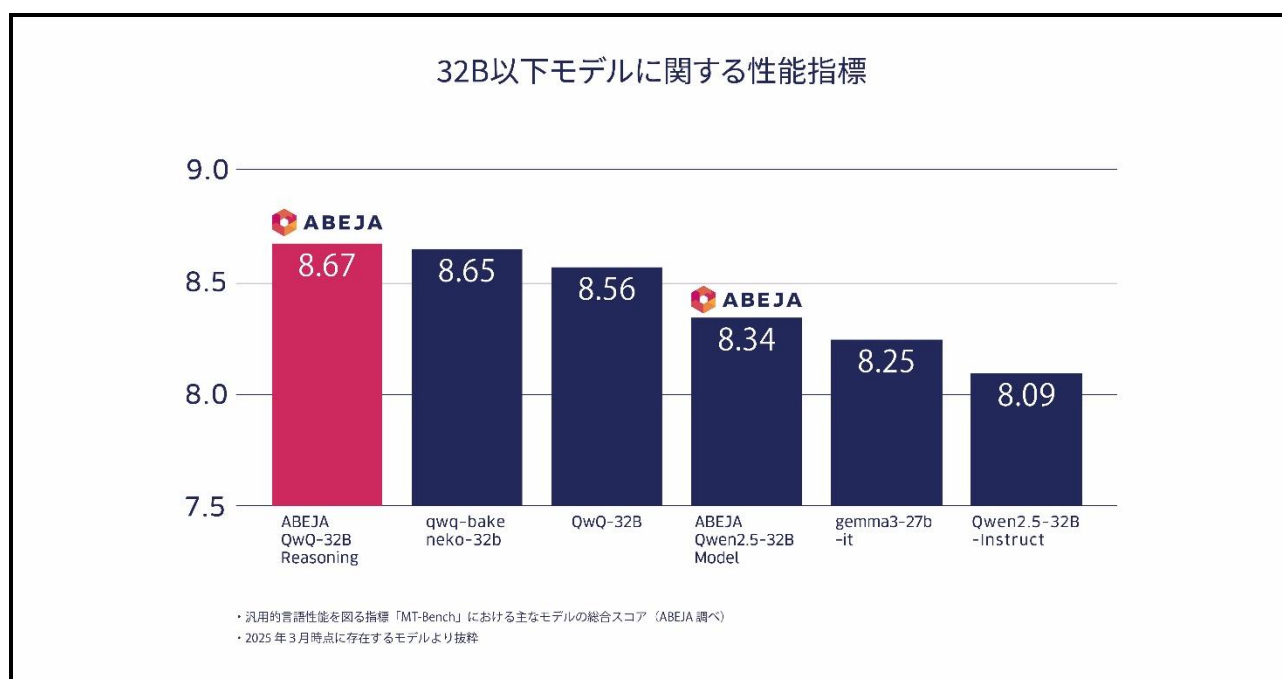
第二期事業において、ABEJA は、Alibaba 社の Qwen シリーズをベースモデルとして、32B 小型化モデル「ABEJA Qwen2.5-32B Model」、32B 小型化リーズニングモデル「ABEJA QwQ-32B Reasoning Model」、7B 小型モデル「ABEJA Qwen2.5-7B Model」の 3 モデルを構築いたしました。

これら 3 モデルのうち、32B 小型化リーズニングモデル「ABEJA QwQ-32B Reasoning Model」、7B 小型モデル「ABEJA Qwen2.5-7B Model」の 2 モデルの日本語性能が、それぞれ同規模モデルとの比較において、世界最高水準の性能を達成しています。

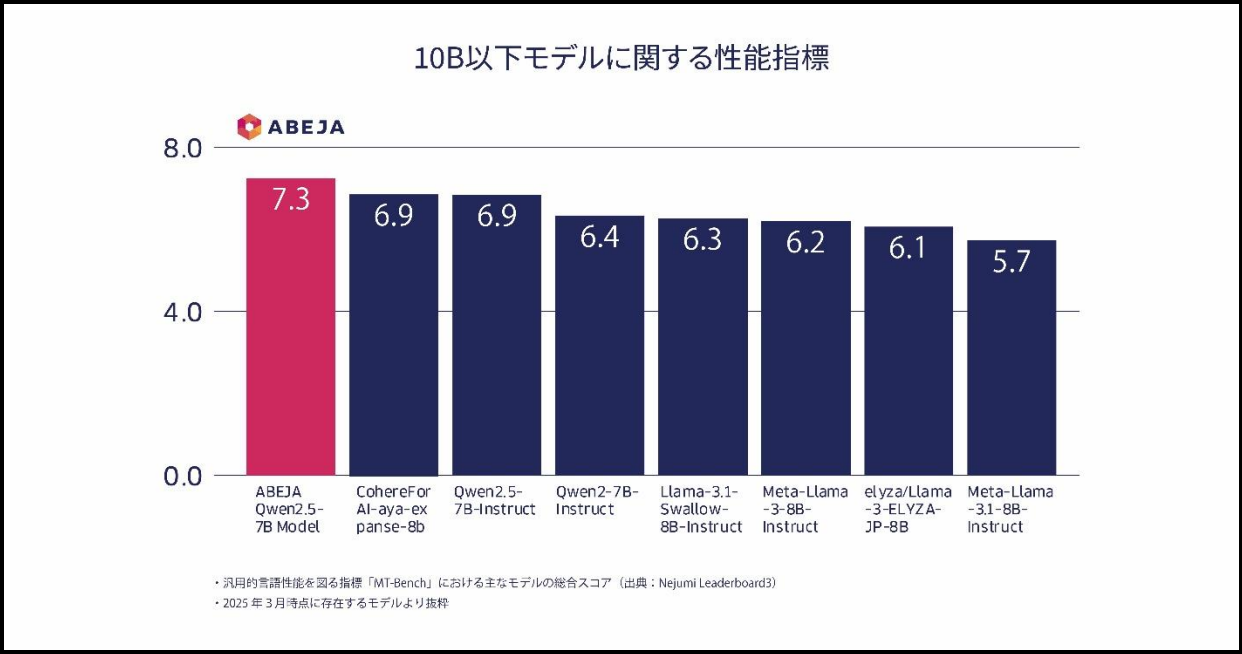
このたび構築した 3 モデルは、精度やコスト、利便性の観点から実用性を備えており、エッジ環境でのデプロイが可能であるため、オフィスや工場など多様なエッジ環境での実装が可能です。

なお、ABEJA は、こうした 3 つの高精度 LLM を学習コスト合計 1 億円以内（トライアンドエラーも含む）で開発しており、LLM の構築においても、経済合理性を大きく改善させています。

また他の 2 モデルより先んじて 2025 年 1 月に公開した「ABEJA Qwen2.5-32B Model」※2 においては、日本経済新聞社「NIKKEI Digital Governance」「AI モデルのスコア化ランキング」（25 年 3 月公開）※3 で、日系 1 位、グローバル 16 位にランクインしております。また WandB の Nejumi Leaderboard3※4 の総合スコアでは 50B 以下のモデルとして 1 位を獲得しております。



32B 以下モデルに関する性能指標



10B 以下モデルに関する性能指標

ABEJA が構築した 3 モデルと主なモデルおよびその精度

モデル	性能
・ ABEJA Qwen2.5-32B Model	Open AI GPT-4 超え
・ ABEJA QwQ-32B Reasoning Model	同規模モデルの最高水準かつ OpenAI GPT-4o、o1-preview 超え
・ ABEJA Qwen2.5-7B Model	同規模モデルの最高水準かつ OpenAI GPT-3.5 Turbo 超え

・「ABEJA Qwen2.5-32B Model」に関する性能：

汎用的言語性能を図る指標「MT-Bench」における主なモデルの総合スコア（ABEJA 調べ）

モデル名	総合スコア
ABEJA Qwen2.5-32B Model	8.29
gpt-4	7.73
Qwen2.5-32B-Instruct	8.09

・「ABEJA QwQ-32B Reasoning Model」に関する性能：

汎用的言語性能を図る指標「MT-Bench」における主なモデルの総合スコア（ABEJA 調べ）

モデル名	総合スコア
ABEJA QwQ-32B Reasoning Model	8.67
anthropic.claude-3-5-sonnet	8.64
o1-preview	8.64
QwQ-32B	8.56
gpt-4o	8.51
Qwen2.5-72B-Instruct	8.38
Qwen2.5-32B-Instruct	8.09

・ ABEJA Qwen2.5-7B Model」に関する性能：汎用的言語性能を図る指標「MT-Bench」における主なモデルの総合スコア（出典：WandB Nejumi Leaderboard3）

モデル名	総合スコア
ABEJA Qwen2.5-7B Model	7.26
anthropic.claude-3-haiku	7.13
Qwen2.5-7B-Instruct	6.86
gpt-3.5-turbo	6.82
Meta-Llama-3-8B-Instruct	6.21

（2）情報の公開

第二期事業の期間中、ABEJA および NEDO は、LLM を利活用する企業や組織の増加、社会における AI 技術革新の大幅な加速、そして次世代の研究や技術者の育成を目的に、情報公開してまいりました。

モデルについては Hugging Face で、また研究開発において得られたノウハウや評価などの詳細についてはブログで公開しております。さらに NEDO が主催する各企業とのマッチングイベント、各種セミナー、イベントなどに ABEJA は積極的に参加し、情報を公開するなど両者で社会実装に向けた啓蒙活動も推進いたしました。

ABEJA が構築した 3 モデルおよびその公開先

モデル	公開先
ABEJA Qwen2.5-32B Model	プレスリリース： https://www.abejainc.com/news/20250127/1 Hugging Face： https://huggingface.co/abeja/ABEJA-Qwen2.5-32b-Japanese-v0.1 https://huggingface.co/abeja/ABEJA-Qwen2.5-32b-Japanese-v1.0 ブログ： https://tech-blog.abeja.asia/entry/geniac2-qwen25-32b-v0.1 https://tech-blog.abeja.asia/entry/geniac2-qwen25-32b-v1.0
ABEJA QwQ-32B Reasoning Model	プレスリリース： https://www.abejainc.com/news/20250417/1 Hugging Face： https://huggingface.co/abeja/ABEJA-QwQ32b-Reasoning-Japanese-v1.0 ブログ： https://tech-blog.abeja.asia/entry/geniac2-qwen25-32b-reasoning-v1.0
ABEJA Qwen2.5-7B Model	プレスリリース： https://www.abejainc.com/news/20250417/2 Hugging Face： https://huggingface.co/abeja/ABEJA-Qwen2.5-7b-Japanese-v0.1 ブログ： https://tech-blog.abeja.asia/entry/geniac2-qwen25-7b-v0.1

■ 今後の予定

このたび構築した 3 モデルは、低コストで高い精度を有した、利便性の高い小型化モデルです。そのため、コスト負荷が高く遠隔にあるデータセンターではなく、オフィスや工場などの環境下で利用が可能になります。またクラウドが不要となるため、セキュリティの高いクローズドな環境で利用することも可能です。ABEJA は、具体的に、高度なプライバシー処理が求められる銀行や病院、インターネットから断絶している環境、迅速かつ正確な操作や入力が必要となる工場などでの活用を想定し、企業の AI 実装を支援する基盤となる「ABEJA Platform」に搭載し、提供してまいります。

ABEJA は、引き続き、LLM の社会実装を推進し、ABEJA の企業理念である「ゆたかな世界を、実装する」の実現に努めてまいります。

この成果は、NEDO の助成事業の結果得られたものです。

※1 「競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発（助成）」事業：https://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100331.html

※2 他の 2 モデルより先んじて 2025 年 1 月に公開した「ABEJA Qwen2.5-32B Model」：

「ABEJA QwQ-32B Reasoning Model」および「ABEJA Qwen2.5-7B Model」については、2025 年 4 月に公開。

※3 日本経済新聞社「NIKKEI Digital Governance」「AI モデルのスコア化ランキング」（25 年 3 月公開）

日本経済新聞社が発行する電子媒体「Digital Governance」で定期的に公開される AI モデルの精度をスコア化したランキングチャート。<https://vdata.nikkei.com/prime/digital-governance/ai-model-score/>（有料記事）

※4 WandB の Nejumi Leaderboard3

WandB：<https://wandb.ai/site>

Nejumi Leaderboard3：日本語対応の LLM を対象に網羅的な性能評価を行う指標。

<https://wandb.ai/wandb-japan/llm-leaderboard3/reports/Nejumi-LLM-3--Vmlldzo3OTg2NjM2>

■株式会社 ABEJA について

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」を展開しています。ABEJA Platform は、ミッションクリティカル業務における堅牢で安定した基盤システムとアプリケーション群であり、生成 AI をはじめとする最先端技術による運用が人と AI の協調により実現可能です。ABEJA は、2012 年の創業時より ABEJA Platform の研究開発を進めており、顧客企業からの信頼のもと、数多くの導入を進めることで「テクノロジーの力で産業構造を変革する」ミッションに取り組んでいます。

本 社：東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階

設 立：2012 年 9 月 10 日

代 表：代表取締役 CEO 岡田 陽介

事 業：ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」

URL：<https://abejainc.com>